

令和 7 年 3 月 3 日

こども家庭庁

成育局長 藤 原 朋 子 殿

公益社団法人 日本看護協会
会 長 高 橋 弘 枝



令和 8 年度予算・政策に関する要望書

近年、我が国では、成育過程にある者およびその保護者並びに妊産婦を取り巻く環境が大きく変化している中で、女性の健康や学童・思春期における問題など様々な課題があります。このような中、国では成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針(令和 5 年 3 月 22 日閣議決定)に沿って、プレコンセプションケアを含む「性と健康の相談センター事業」の拡充が行われています。

性と健康に関する相談支援は、秘匿性が高く、専門的な知識を必要とするものが多く含まれています。これらの相談支援を効果的に行うためには、時間や手段にとらわれず柔軟に実施されることが重要です。

また、専門性の高い人材配置は、性や健康管理に対する正しい知識を普及し、充実した相談支援には欠かせません。今後、さらに「性と健康の相談センター事業」を効果的に実施するためには、相談支援事業の人材配置も含めた体制整備の強化や更なる拡充が必要です。

以上より、令和 8 年度予算案等の編成ならびに政策の推進にあたっては、以下の事項につきまして、格別のご高配を賜りますよう要望します。

要 望 事 項

「性と健康の相談センター事業」の相談支援体制の充実強化および看護職の活用

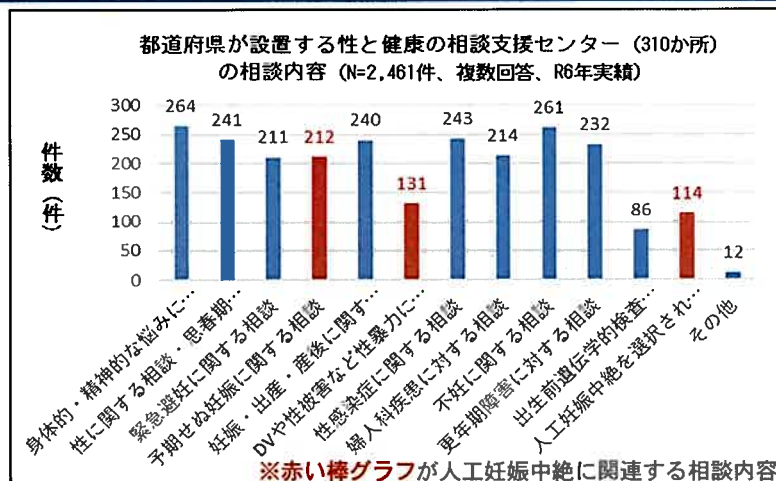
「性と健康の相談センター事業」の相談支援体制の 充実強化および看護職の活用

相談者が相談したいときに相談できる性と健康の相談センターとして十分活用されるよう

- ・ 事前予約の必要がなく、24時間複数の手段で相談できる柔軟な相談体制を整備されたい。
- ・ 安心して相談できる体制として、専任で秘匿性の高い相談に十分配慮でき、性と生殖に関する専門知識を有する保健師、助産師をはじめとする看護職を活用されたい。

「性と健康の相談センター事業」の相談支援体制の充実強化 および看護職の活用

- ・性と健康相談センター事業の特徴は、秘匿性が高いデリケートな内容を扱う業務で専門性も高い。
- ・例えば、人工妊娠中絶は、126,734件（R5実績 衛生行政報告例）実施されているが、（中絶に）関連する相談件数は5%前後であり、相談センターの十分な活用には至っていない。
- ・性と健康相談センターの相談には、事前予約が必要であり、相談受付や相談の実施を24時間実施している窓口はほとんどなく、相談者が相談したいタイミングに相談できる体制ではない。



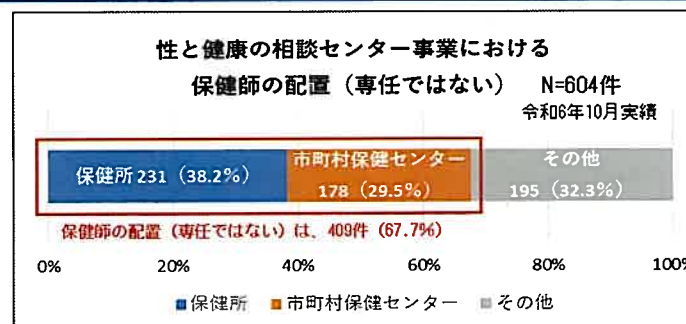
出典：性と健康に関する相談 こども家庭庁
<https://www.cfa.go.jp/c88f0335-6d3b-4d83-a7ae-38557db5c103>

24時間受付や相談を行っている窓口数

手段	24時間受付 N=310か所（R6実績）	24時間相談の実施 N=294（R4実績）
対面	0	0
電話	3	2
SNS	23	11
アウトリーチ	0	0

出典：全国の性と健康の相談センター窓口一覧 こども家庭庁
<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/seitokenkogaiyo>

- ・性と健康の相談センター事業を担当する看護職（保健師）の配置は、6割以上が専任ではない（可能性がある）



出典：性と健康に関する相談 こども家庭庁
<https://www.cfa.go.jp/c88f0335-6d3b-4d83-a7ae-38557db5c103>